

## 空知管内老人福祉施設協議会 個別ケア部会について

社会福祉法人 芦別慈恵園  
経営管理係長 深沢覚久

## 空知管内の老人福祉施設状況

- ② 養護老人ホーム……………8施設
  - ② 軽費老人ホーム……………12施設
  - ② 特別養護老人ホーム…28施設
- 計48施設

〔北ブロック24施設〕  
〔南ブロック24施設〕

## 平成19年度個別ケア部会加入状況

特別養護老人ホーム 24施設  
(公立施設4施設)  
養護・軽費・ケアハウス 3  
(公立施設1施設)  
合計 27施設加入

## 個別ケア部会設立にあたり…

「空知老施協会長の思い」問題提起

- ② 上川管内の施設が良くなり、お年寄りが幸せになって、空知のお年寄りはどうなのだろうか？
- ② 個人を見ていない集団ケアをしていて利用者は本当に幸せなのか？

## 個別ケア部会設立にあたり…

- ② 「ユニットケア」のイメージ  
個室や人員配置など「できない」イメージや取り組みにこだわってしまう。
- ② 「個別ケア」のイメージ  
集団ケアからの脱却に視点を置き、各施設の状況に合わせた取り組みから行なう。

## 個別ケア部会設立にあたり…

- ② 空知管内老人福祉施設の**共通テーマ**として「ユニットケアを实践するだけにこだわらず、個別のケアを見つめる。」



平成18年度

『個別ケア部会』設立

## 個別ケア部会の運営

### 目的

その人らしい生活を充実させる為に…

- ① 職員の資質向上
- ② 施設間のネットワークを作り情報交換を行う

## 個別ケア部会の運営

### 事業

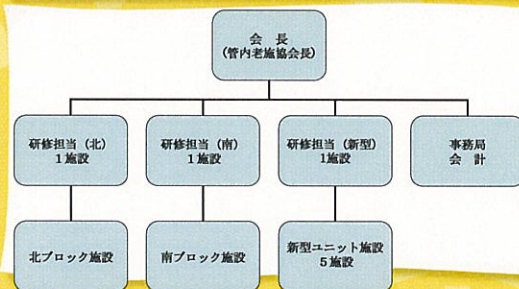
- ① 年3回研修会を開催する
- ② 研修計画及び、研修報告を空知管内老人福祉施設協議会に報告する

## 会費

- ④ 空知管内老施協部会費 50,000円
- ④ 加入施設年会費
  - ・定員50名まで 5,000円
  - ・定員51名以上 10,000円
- ④ 研修負担金
 

部会加入施設	2,000円
非加入施設	2,500円

## 平成19年度個別ケア部会組織



## 参加者状況

月日	研修担当	参加者数
平成18年6月19日・20日	芦別慈恵園	94名
平成18年11月1日	深川清祥園	71名
平成19年2月20日	滝川市緑寿園	70名
平成19年6月14日	雨竜寿園	80名
平成19年10月30日	夕張清光園	90名

## 研修会の方法

- ④ 研修担当施設の見学
- ④ 実践報告は研修担当施設の取り組みについて研修参加者とともにグループワークやディスカッションを行なう演習とする。
- ④ 部会に所属する各施設で取り組む個別ケアについて多職種が報告する。

## 研修担当施設との打合せ

- 事前打合せ(3回)
  - 担当施設で課題となっていることの確認
  - 研修会前日に行なう事前研修の打合せ(研修会当日の練習・武田先生の助言)
  - 研修会日程、事例発表等の検討
- 反省会1回
  - 研修のまとめ

## 研修会当日

- 施設内見学
  - 担当施設職員が見学者に説明
- 現場職員が「なぜ」という参加者の質問に答えなければならない。
- 「以前からそうだから・考えたことがなかった」
  - ⇒利用者のためかどうか?という視点へ

## 研修会当日

参加者→シートを作成

- 見学しながら良い点・改善点シートを記載する。

A棟(中町・西町)	
良い点	悪い点

## 良い点・改善点シート

ユニット名	いこい	Na	Cw	Sw	Cm	他
<良いところ>						
香料や生花(ミントなど)で消臭など、工夫されていて清潔感があつた。		1	3	3	2	3
緑が多い。ベランダに鉢花。好きな花や野菜で見た目も水やりも楽しんでいる。		5	20	3	2	2
古シーツを染めたテーブルクロスなど、いろいろなアイデアがある。		1	5	1		
居間以外にも小スペースがあり、家族が来てテレビを見るスペースがあり配慮している						1
ダイニングが明るい。食堂とリビングスペースを分けている。		2	3	1		1
トイレが清潔で臭いが無い。		2				1
<悪いところ>						
展示物が多すぎ、少し飾りすぎで全体が狭く感じられた		2			1	1
室内が見えなくなっている。						1
ターミナルケアの方のプライバシーは?		1				
通路が狭い、移動スペースが狭い。		2				1
トイレのドアに、更にカーテンで利用者が面倒では?		1				
風が入りすぎ、エアコンがきついのでは?		2				

## 研修会に参加して取り組み

平成19年度 第3回個別ケア部会研修会に向けて  
施設名: \_\_\_\_\_ 職種: \_\_\_\_\_

職種	1) 施設で取り入れたいこと 2) 自分が取り組みたい事	期限

## 研修会に参加して取り組み

- 次回研修会に向けて施設で取り入れたいこと、自分が取り組みたいことをシートに記載する。
  - ⇒研修で学んだこと実践し、次回参加時に施設ごとに進捗状況を全体会で報告する。(研修会で学んだことをフィードバック)

## 前回研修後の取り組み状況について

S/W	各居室と風通し器具の設置	19年度中	グループ会議（定期は月一回）にて各職種と検討を行い、必要性を話し合った。	風通し器具の設置により、室温や湿度とのふれあいの場としての機能を果たしている。
	担当グループの意識改革を再度行う。	19年度中		他職種との話し合いの中少しづつではあるが、進んでいるように思うが職種の温度差が大きすぎまだまだ働きかけが必要
	グループワークに積極的に介入する。	19年度中		今後も各グループ内で話し合い随時、季節感を出すように配慮を行う。
C/W	季節感のある環境作り	6ヶ月	季節の花、風鈴、虫を飾り季節を感じてもらえる環境を作ると共に、園庭外の散歩を取り入れ肌で季節を感じてもらえるように配慮した。	
C/W	個人個人の花壇をつくりたい	1年間	必要な利用者は、鉢で花を育ててもらっている	鉢で花をそだててもらっているが、鉢だけで良いか再検討が必要である。

## 研修施設になることによって…

- 自分たちのケアを見直すきっかけとなる。
- 研修施設においては全職種が関わり、研修会場としての役割、取組みを行なった。
- 施設や自分たちが見られるということでケアの確認、ハード（設え）の確認が出来た。
- 職員が自分たちのことを自信をもって説明できるようになった。

## 研修施設になることによって…

- できたこととできていないことの確認を行ない、自分たちの今後の個別ケアの方向性を見出ししていくことができた。
- 他施設の職員からの意見を素直に受け止めることができ、意見に対して感謝して活用できたことが大きな収穫となった。

## 新型特養での取り組みを通じて

- ユニット型への建て替え計画
- ハードができてソフトが追いつくのか？  
**新型特養が直面している課題を共有**
- 現場は何を、どのように準備するのか？
- 既存施設で何をしておかなければならないか？

## 課題

- 『個別ケア』…施設ごと温度差が出ないように。  
そのために参加施設は、
- ①小さなことからでも行ない**継続**する
  - ②建物、人のせいにならず、**言い訳しない**
  - ③目的を忘れない**個人を見つめる**
- 前回取り組み後の報告方法の改善
  - 研修担当施設と参加者との関わり方

## 課題

- 『個別ケア』…**モチベーションの維持**  
空老協主催なのでスタッフの参加は増え、研修スタイルが出来て来ている
- 施設管理者（施設長）の参加増**を目指す  
研修方法の検討  
（既存施設…北と南ブロック、新型特養）



## 今後の取り組みにむけて

- ④ 研修施設となったことでその時は変わったが、それを維持することの難しさを感じる。
- ④ 本質が変わるには長い時間を要する。長い期間培ってきたものは簡単には変わらないので繰り返し研修を行なうこと。
- ④ 「どこまでやるか」ではなく、一つずつの取り組みが大事であり、変わったことを評価していくこと。(整理する・検証する)